



3月18日、石鏡町に住む地域おこし協力隊の上田茉莉子さんが主催する第2回海女料理教室が開催されました。



今回は同町の元鮮魚店主の宮本理さんが講師を務め、市内から男女9人が参加し、ブリとマダイのさばき方を教わってブリしゃぶとタイの刺し身を作りました。

参加者らは講師の包丁さばきに見とれ、押田一高さんは「普段あまり料理をする機会がないので、これを機に家で練習していきたい。とてもいい経験になりました」と話してくれました。

石鏡料理教室・魚のさばき方講座



3月15日、答志中学校で社会福祉法人鳥羽市社会福祉協議会就労継続支援(B型)事業所「海の子」の7人が答志中学校の1年生12人とダンスで交流しました。アウザーダンススタジオでインストラクターをする小村ゆりさんが振り付けをゆっくりと分かりやすく指導し、音楽に合わせてDA PUMPのU.S.A.を踊りました。

ダンスの後は教室で給食を一緒に食べて交流し、参加した答志中学校の山下咲枝さんは「初めてで難しかったけど、楽しかった」と感想を話してくれました。

U.S.A.をみんなで踊って交流



3月9日、近鉄の営業時間内で初めて津波避難訓練が行われました。三ノ丸広場前で車両が緊急停止し、全ての扉が開くと、約200人の乗客らは助け合いながら次々に線路へ降りて乗務員の誘導に従って避難し、約7分で城山公園への避難が完了しました。

城山公園では、市消防本部による煙ハウス体験や緊急時の搬送の実演なども行われ、訓練に参加した加茂小学校1年の岩崎恵麻さんは「電車から降りるときは高くて怖かったけどみんなが助けてくれた」と話してくれました。

津波から命を守る。近鉄で初の避難訓練



3月1日、安楽島保育所にて鳥羽で生産された養殖のりを使用した給食が振る舞われました。

提供されたのりは地産地消の促進を目指し、毎年2月6日の「海苔の日」に合わせて、鳥羽地区黒のり養殖研究協議会から寄贈されたもので、給食ではちらしずしをのりで巻いて味わいました。

また、給食の前には市水産研究所の職員による養殖のりの説明もあり、子どもたちは真剣に話を聞いていました。

鳥羽産のりでちらし巻き